

項目	
科目名	教養演習
教員名	久我和巳
授業概要とねらい	<p>教養演習では、大学での学びの基礎を築くために、報告のまとめ方、発表の仕方、討論の方法を学びます。報告をレジュメにまとめたり、実際に発表を体験したり、学んだことをレポートの形にしたりすることを通じて、これからの研究活動の基盤としたいと思います。さらに、レポートや論文を書くための文献調査法、引用の仕方を身につけると同時に、文献を読み解きながら、議論を積み上げていきます。もちろん、テキストを読み解くためには、テキスト以外の関係資料の調査・読解も必要になってきます。新聞や書籍を通じて知識を獲得すると同時に、物事をより深く考える練習も行います</p>
望ましい水準	<p>1.適切な資料をもとに、報告・発表ができる。 2.資料に基づき、自分の考えを深め、それを表現することができる。 3.他の人の意見を聞き、それに対して意見交換を行い、お互いの考え方を磨きあうことができる。</p>
授業計画	<p>大学での研究の基礎として、文献検索、発表やレポートの技法などを中心に学んでいきます。前期では、テキストの読解、レジュメの作り方、発表や議論の仕方について経験します。使用する予定のテキストは、理論的、論理的に考えるための足がかりとして、いくつもの思考実験の課題を提示しています。自らの経験と照らし合わせながら、歴史や社会への幅広い視野をもって考えていきます。また、SFやミステリーなど目を通していただく素材も用意します。</p> <p>第1回：イントロダクション 第2～4回：テキストの輪読と議論 第5回：まとめ</p>
教材・教科書	岡本裕一朗『思考実験―世界と哲学をつなぐ75問』筑摩新書、2013年
参考図書	ジュリアン・バジーニ『100の思考実験』向井和美訳、紀伊国屋書店、他。授業中に指示します。
参考URL	
授業以外の学習	<p>報告を担当する場合には、綿密な資料調べを行ってください。報告を担当しない場合でも、テキストを熟読し、参考資料に当たってください。授業後はレジュメ等を適切に保存し、復習に役立ててください。</p>
成績評価の方法	
成績評価の基準	<p>課題を設定してレポートの提出を求めます。授業への参加、発表等も参考にします。</p> <p>レポート3割、授業への参加を7割として評価します。演習形式の授業では、やむをえない場合のみ除いて欠席は認められません。</p> <p>「望ましい水準」に照らして、次のように評価します。</p> <p>A.すべての項目において高い水準にある B.一部の項目において高い水準にある C.すべての項目において望ましい水準に達している D.一部の項目において望ましい水準に達していない F.多くの項目において望ましい水準に達していない</p>
オフィスアワー	毎週金曜日14：40～16：10
留意点・注意事項	
その他	メール：a076@ipc.fukushima-u.ac.jp
ディプロマポリシー大区分1	行政政策学類のディプロマポリシー / 表現力・コミュニケーション能力（行政政策学類）
ディプロマポリシー小区分1	幅広い教養 / 多角的・総合的思考（幅広い教養1）
ディプロマポリシー大区分2	行政政策学類のディプロマポリシー / 解決能力・応用能力（行政政策学類）
ディプロマポリシー小区分2	
ディプロマポリシー大区分3	
ディプロマポリシー小区分3	
ディプロマポリシー大区分4	
ディプロマポリシー小区分4	
ディプロマポリシー大区分5	
ディプロマポリシー小区分5	
ディプロマポリシー大区分6	
ディプロマポリシー小区分6	
ディプロマポリシー大区分7	
ディプロマポリシー小区分7	
ディプロマポリシー大区分8	
ディプロマポリシー小区分8	
ディプロマポリシー大区分9	
ディプロマポリシー小区分9	
ディプロマポリシー大区分10	
ディプロマポリシー小区分10	
ディプロマポリシーその他	